

デュフロン[®]100ニューファイ

特 長

- ① JIS K5659 鋼構造物用耐候性塗料 A 種 上塗り塗料 1 級に合格しています。
- ② 耐候性にすぐれています。
- ③ 塗料用シンナー A で希釈ができ、作業性にすぐれ、仕上がりが良好です。
- ④ 環境にやさしい弱溶剤タイプです。
- ⑤ 塗料に有害重金属(鉛・クロム)を配合していません。
- ⑥ 耐薬品性(耐酸・耐アルカリ)、耐水性、耐塩水性にすぐれています。

用 途

橋梁・プラントなど高耐候性を求められる鋼構造物の上塗り。

塗装使用例

新 設

塗装工程		一般塗料名	商品名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	シンナー名 (希釈率)	標準膜厚 (μm/回)
施工場所	工 程							
ミル メーカー	素地調整	ブラストでISO Sa2 1/2まで除錆する。						
	ショップ プライマー	無機ジंकリッチプライマー	ニッペジンキー1000P	0.16 (エアレス)	1	3日以上 6カ月以内	ニッペジンキー1500シンナー (0~5%)	15
現場	補修 素地調整	発錆部・劣化部は電動工具を主体としてISO St3まで除錆する。						
	補修塗装	弱溶剤形 変性エポキシ樹脂下塗り塗料	ハイボン20ファイン	(0.20) (はけ・ローラー)	(1)	16時間以上 10日以内	塗料用シンナーA (0~10%)	(50)
	下塗り	弱溶剤形 変性エポキシ樹脂下塗り塗料	ハイボン20ファイン	0.20 (はけ・ローラー)	2	16時間以上 10日以内	塗料用シンナーA (0~10%)	50
	中塗り ^{*1}	弱溶剤形 ふっ素樹脂塗料用中塗り塗料	デュフロン100ファイン 中塗り	0.14 (はけ・ローラー)	1	3時間以上 10日以内	塗料用シンナーA (0~10%)	30
	上塗り	弱溶剤形 ふっ素樹脂上塗り塗料	デュフロン100ニューファイン	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	塗料用シンナーA (0~10%)	25

塗り替え

工 程	一般塗料名	商品名	使用量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね乾燥時間 (23℃)	シンナー名 (希釈率)	標準膜厚 (μm/回)
素地調整	電動工具、手工具を用いて劣化した旧塗膜を除去し、発錆部はISO St3まで除錆する。 一般旧塗膜部は塗り替え塗膜との付着性を回復するために、全面清掃ケレンを行う。						
補修塗装	弱溶剤形 変性エポキシ樹脂下塗り塗料	ハイボン20ファイン	(0.20) (はけ・ローラー)	(1)	16時間以上 10日以内	塗料用シンナーA (0~10%)	(50)
下塗り	弱溶剤形 変性エポキシ樹脂下塗り塗料	ハイボン20ファイン	0.20 (はけ・ローラー)	1	16時間以上 10日以内	塗料用シンナーA (0~10%)	50
中塗り ^{*1}	弱溶剤形 ふっ素樹脂塗料用中塗り塗料	デュフロン100ファイン 中塗り	0.14 (はけ・ローラー)	1	3時間以上 10日以内	塗料用シンナーA (0~10%)	30
上塗り	弱溶剤形 ふっ素樹脂上塗り塗料	デュフロン100ニューファイン	0.12 (はけ・ローラー)	1	—	塗料用シンナーA (0~10%)	25

※1 中塗りにはデュフロン100ファイン中塗り(弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗り塗料)も使用できます。詳細は製品使用説明書等をご参照ください。

注：上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

注：塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間を守ってください(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります)。

注：ISO Sa2 1/2、ISO St3：International standard ISO-8501 (素地調整の規格)

容 量

15kgセット(塗料液:硬化剤=13.5kg:1.5kg)
3kgセット(塗料液:硬化剤=2.7kg:0.3kg)

色 相

ホワイトおよび各色

(つや有り・7分つや有り※・5分つや有り※・3分つや有り※)

※JIS K5659はつや有りのみが対象となります(光沢値の規格があるため)。

デュフロン[®]100ニューファイン

使用方法

下 地 調 整：被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油その他の異質物を清掃し、清掃ケレンしてください。

調 合：2液形のため、「塗料液：硬化剤＝9：1（重量比）」に混合し、十分にかくはんしてください。

ポットライフ：5時間（23℃）

希 釈 材：塗料用シンナーA

塗 装 方 法：

塗装方法	はけ、ローラー塗り	エアレススプレー塗り
希釈率	0～10%	0～10%
使用量	0.12kg/㎡/回	0.14kg/㎡/回
膜厚(ドライ)	25μm/回	25μm/回
膜厚(ウェット)	50μm/回	50μm/回

・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

エアレス条件：一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12～15MPa
チップNo. 163-513、515など

乾 燥 時 間：	5℃	23℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	40分
半硬化乾燥	5時間	3時間	2時間
塗り重ね乾燥	24時間以上	16時間以上	16時間以上

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、温度および素地の状態によって異なります。

塗膜性能 (JIS K 5659 上塗り塗料 1 級)

試験項目	規格	性能
容器の中の状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になる	合格
表面乾燥性	表面乾燥する	合格
塗膜の外観	正常である	合格
ポットライフ	規定時間後、使用できる	合格
隠ぺい率 (%)	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄は50以上、その他の色は80以上	合格
鏡面光沢度 (60 度)	70以上	合格
耐屈曲性	折曲げに耐える	合格
耐おり落下性 (デュボン式)	塗膜に割れ及びはがれが生じない	合格
層間付着性Ⅱ	異常がない	合格
耐アルカリ性	異常がない	合格
耐酸性	異常がない	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	湿潤冷熱繰返しに耐える	合格
混合塗料中の加熱算分 (%)	白・淡彩は50以上、その他の色は40以上	合格
促進耐候性	照射時間2000時間の促進耐候性試験に耐える	合格
屋外暴露耐候性	光沢保持率が60%以上で白垂化の等級が1又は0	合格

※ 上記結果は、一般財団法人 日本塗料検査協会における試験結果による。

使用上のご注意（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください）

1. 硬化剤は、水と反応しますので容器の密閉を確実にしてください。また、塗料中への水の混入は絶対に避けてください。 2. 補修塗装で下塗り、中塗りを塗り重ねる部分は入念な目粗しを行ってください。 3. ご使用前に充分にかくはんしてください。 4. 調合時の混合が不十分な時には硬化不良、付着不良を生じますのでよく練り混ぜてください。 5. 混合後、長時間経つと、流れやすく、また光沢の変化も生じるため、調合後できるだけ短時間の内に塗装してください。 6. かくはんはディスポーで行ってください。 7. 塗料用シンナー A 以外（例えばウレタン用シンナー等）での希釈は絶対に避けてください。 8. 過剰な希釈はつや引けを起こすことがありますので、希釈率は規定量をお守りください。 9. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎますとグレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率を守ってください。 10. 塗装時0℃以下、塗装後0℃以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度85% 以上の場合は施工しないでください。 11. 外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。 12. 密閉場所では換気を十分にを行い、溶剤許容濃度以下で作業してください。乾燥中も換気してください。 13. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。 14. 所定の膜厚を下回りますと、極度に性能が低下しますので、規定の膜厚を守ってください。 15. 塗装間隔は厳守してください。 16. ウレタンを塗り重ねる場合、夏場に連続して直射日光にさらされる場合は、5日以内に塗り重ねてください。それ以上の場合は目粗しを行ってから塗り重ねてください。 17. 塗装器具は塗装終了後、ただちに希釈用シンナーで洗浄を行ってください。	18. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。 19. 皮膚かぶれを生じやすいので、保護具を使用し、直接皮膚につかない様にしてください。 20. 色相によっては隠ぺいが劣るものがございますので、ご相談ください。 21. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。 22. つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。 23. 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。 24. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。 25. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。 26. 作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。 27. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。 28. 内容物／容器を国際、国、都道府県または市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 29. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
■本カタログ掲載商品の詳細な危険有害性情報や使用上の注意事項等については、安全データシート (SDS) をご参照ください。	
■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。	